かねがさき

社福だより

vol. 273
2025年７月３日発行

キャップハンディ体験
第一小学校４年生の皆さん

ボランティアスクールについては
４ページ目にも掲載しています。

Contents　主な内容

P２　令和６年度事業報告
P３　令和６年度一般会計収支決算
　　金ケ崎町社会福祉協議会役員
P４　事業合同説明会・介護技術研修
　　ボランティアスクール
P５　地域福祉活動助成事業のご紹介
　　職員募集・ふれあい福祉相談日程
P６　寄附の報告・ふれ愛食堂・会長の想い

令和６年度金ケ崎町社会福祉協議会　事業報告

主要事業・重点事業

- 新福祉センター建設設計業務
- 災害ボランティアセンター設置運営訓練（奥州市社協と合同）
- 東日本大震災避難者交流サロン「金ケ崎町さくらの会」創立 10 周年記念誌発刊
- 昭和 100 年「残しておきたい私の記憶」出版に向けた原稿依頼
- 訪問介護事業及び通所介護事業における営業日の見直し等

福祉センター外観

1 法人運営事業

理事会（6回）、評議員会（2回）、監査会（4回）

はっぴぃぷれいす

2 指定管理事業

指定管理者制度に基づき、金ケ崎学童保育所、北部学童保育所、三ケ尻学童保育所の施設管理を行いました。

3 関係機関・団体等の連携協力

民生委員児童委員協議会定例会への出席や企業との連携による雪かきボランティア活動、配食サービス等を実施するとともに、JA や商工団体、子育て組織等の協力をいただきながら、子ども食堂「はっぴぃぷれいすかねがさき」の運営を行いました。

4 地域福祉推進事業（54事業）

❶元気高齢者促進事業「ゆいっこハウス」、一人暮らし高齢者サロン「青い鳥のつどい」、家族介護者リフレッシュ交流会、金ケ崎町ファミリーサポートセンター事業等を実施しました。

❷ボランティア連絡協議会と連携し、雪かきボランティア事業「スノーバスターズ」を実施しました。例年になく雪が少なかったため、高齢者の見回りを中心に 135 世帯を訪問しました。

スノーバスターズ

❸中央生涯教育センターを会場に福祉活動推進員等を対象とした事業説明会を開催し、当協議会の事業全般や赤い羽根共同募金助成事業について説明しました。

❹買い物支援バスを運行し、自宅までの送迎対応により、交通弱者や買物弱者の支援を行いました。（年 22 回、延べ 203 名利用）

❺地域住民相互の見守りや災害時に役立てるため、地域支え合いマップ作成事業を実施しました。（1団体作成）

永岡学童保育所地域交流会

5 福祉相談事業

毎月第4金曜日ふれあい福祉相談・無料法律相談・窓口相談など

6 広報啓発活動

年6回社福だより発行、ホームページ更新など

7 民間福祉活動支援

町身体障害者福祉協会の支援など

8 福祉サービス利用支援

配食サービス、福祉有償運送、訪問理美容など

9 共同募金事業

❶**赤い羽根共同募金**
募金総額 3,775,693 円
（前年度 3,805,181 円）

❷**歳末たすけあい義援金**
募金総額 2,221,981 円
（前年度 2,121,012 円）

赤い羽根共同募金活動

10 学童保育事業（小学 1 年生～小学 6 年生）

❶金ケ崎学童保育所　❷三ケ尻学童保育所　❸北部学童保育所
❹北部第 2 学童保育所　❺西学童保育所　❻永岡学童保育所

※ 3 月末在籍児童数 337 人（前年度 310 人）

歳末演芸大会

11 介護保険事業

通所介護事業（デイサービス）

❶居宅介護支援事業所
（ケアプランの作成ほか）
❷訪問介護事業所
（ホームヘルパー）
❸通所介護事業所（デイサービス）
❹訪問型・通所型サービスＡ事業所（緩和型介護予防）
❺生活支援コーディネーター配置
❻オレンジカフェ事業（介護予防・高齢者通いの場創設）

12 障がい者・児童福祉事業

ワークステーション
かねがさき

❶多機能型（生活介護・
就労支援継続Ｂ型）事業所
「ワークステーションかねがさき」
❷ふれあい食堂
❸放課後等デイサービス事業所（小学生～高校生）
クレヨン・第２クレヨン
❹相談支援事業所あゆみ　❺障がい者基幹相談支援センター

13 東日本大震災復興支援事業

・被災世帯支援
・避難者交流サロン「金ケ崎町さくらの会」支援
・「金ケ崎町さくらの会」創立10周年記念誌発刊

社会福祉法人 金ケ崎町社会福祉協議会 役員

任期：令和７年６月26日～
令和９年６月開催の定時評議員会終結の時まで

	会長 髙橋　範夫		副会長 太田　　光
	理事 伊藤　雅章		理事 菊地　成寿
	理事 久保あや子		理事 佐藤恭仁子
	理事 佐藤　千春		理事 松本レイ子
	理事 兼 事務局長 高橋　　修		理事 畠山　富裕
	監事 伊藤　正徳		監事 後藤　幸夫

◆介護保険事業実績数

居宅介護支援事業所	件　数	前年比
ケアプラン作成	713件	－33件
介護予防プラン作成	295件	＋14件
要介護認定調査	45件	－　1件

利用者／参加者	延人数（前年比）	１日平均（前年比）
訪問介護事業所	5,937人（＋235人）	19.0人（＋0.7人）
通所介護事業所	5,855人（＋549人）	18.8人（＋1.8人）
通所型サービスＡ事業所	614人（＋109人）	12.0人（＋2.1人）

◆高齢者等生活支援事業実績

オレンジカフェ	計472回実施	参加者延人数 4,960人
	前年372回	前年4,055人

◆障がい者・児童福祉事業

利用者／参加者	延人数（前年比）	１日平均（前年比）
ワークステーションかねがさき	8,160人（＋　26人）	31.9人（－0.3人）
クレヨン	3,381人（－　86人）	11.8人（－0.3人）
第２クレヨン	2,819人（－284人）	9.7人（－1.0人）

令和６年度 一般会計資金収支決算書内訳表

◆資金収支計算書（R6.4.1 ～ R7.3.31）

単位：円

収入		支出	
勘定科目	決算額	勘定科目	決算額
会費収入	4,340,000	人件費支出	252,629,710
寄付金収入	609,770	事業費支出	37,635,151
経常経費補助金収入	69,472,012	事務費支出	36,520,840
受託金収入	18,450,630	貸付金支出	150,000
事業収入	28,793,947	就労支援事業支出	16,446,177
貸付事業等収入	112,500	助成金支出	998,937
共同募金配分金事業収入	4,584,900	固定資産取得支出	37,891,125
介護保険事業収入	89,227,711	積立資産支出	19,361,939
障害福祉サービス等事業収入	132,090,940		
就労支援事業収入	8,337,537		
受取利息配当金収入	93,725		
その他の収入	984,494		
施設整備等補助金収入	4,860,000		
積立資産取崩収入	50,411,056		
合計	412,369,222	合計	401,633,879

※資金収支差額　10,735,343円

◆貸借対照表（R7.3.31 現在）

単位：円

資産の部		負債の部	
勘定科目	決算額	勘定科目	決算額
流動資産	113,188,823	流動負債	41,566,111
固定資産	452,434,887	固定負債	23,789,849
		負債の部合計	65,355,960
		純資産の部	
		基本金	1,000,000
		国庫補助金等特別積立金	44,608,500
		その他の積立金	330,230,699
		次期繰越活動増減差額	124,428,551
		（内当期活動増減差額）	9,716,422
		純資産の部合計	500,267,750
資産の部合計	565,623,710	負債及び純資産の部合計	565,623,710

事業合同説明会

6月5日（木）、中央生涯教育センターにて事業合同説明会を開催しました。当日は自治会長や民生委員児童委員の皆さま約50名にご出席いただき、社協事業をはじめ、第4期地域福祉活動計画や支え合いマップ事業、赤い羽根共同募金を活用した助成事業等について説明しました。

地域福祉活動計画については、少子高齢化や人口減少、一人暮らし高齢者の増加など、福祉課題が多様化、複雑化する中、現行の第3期計画の実施結果から、総合的な相談体制・つながり・支え合いの仕組みづくり・生きがいづくり・災害への備えの5つの必要性が見えてきました。これらのニーズに対応すべく、今後計画策定委員会や関係機関との協議、検討等を重ね、第4期計画の策定を進めてまいります。

地域福祉活動計画ってなに？

社会福祉協議会が中心となって策定するアクションプラン（行動計画）です。町が策定する地域福祉計画と連携して、地域福祉の推進を目指します。5か年計画となっており、来年度から第4期がスタートします。

デイサービス

より質の高いサービスを目指して

介護福祉課では今年度の介護技術研修を令和7年4月7日、28日に実施しました。「ボディメカニクス及びキネステティックスを用いた介護技術研修」という内容で外部より理学療法士を講師に招き、介護職員の腰痛予防などの負担の少ないケア方法、そしてご利用者様には快適に安心して車いすやベッドに移乗していただくための介助方法を学びました。

職員同士で実際にベッド上での移動や起き上がりの介助、車いすへの移乗を行ってみると、最初のうちは「なかなか難しい」、「慣れた方法がどうしてもやりやすい」と声が出ましたが、コツをつかんでくると「こっちのほうが全然負担がない」との声やモデルとなった職員からも「身体が浮く時間が短いから安心感がある」、「スムーズに移動できるから身体に負担がない」と身をもって新しい技術のメリットを体感し、技術が身につくまで何度も練習を重ねました。

今後もご利用者様が安心、快適に過ごしてくださるために新しい技術をアップデートしながら技術力を高めてまいります。

ボランティアスクール事業

当協議会では、子どもたちの福祉の心を育むことを目的として、ボランティアスクール事業を行っております。今年度も町内5つの小学校と金ケ崎中学校で、車イス、白杖、高齢者疑似といったキャップハンディ体験、福祉・保育施設での交流・体験、手話学習教室を実施します。

5月からはキャップハンディ体験が順次スタートしており、各校の児童のみなさんは積極的に体験に取り組んでいます。

体験後の子どもたちからは、「どのように支援すれば車イスや白杖を使っている人が安心できるのか考えることができた。」など、たくさんの思いやりの気持ちが芽生えていました。

永岡小

第一小

金ケ崎小

三ケ尻小

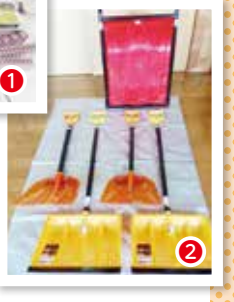
赤い羽根共同募金　地域の福祉活動にご活用ください！

助成事業のご紹介

金ケ崎町共同募金委員会では、赤い羽根共同募金運動で皆さまから寄せられた募金を活用して地域福祉活動助成事業を実施します。この助成事業は、地域で身近な福祉課題に取り組んでいる団体等に対して、活動に必要な事業経費の支援を行うものです。「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」のために、是非ご活用ください。

対象年度	令和７年度
対象団体	地域の福祉向上を目的に活動している町内のボランティア・NPO 団体、老人クラブ、自治会等の任意の住民グループ
対象活動	高齢者、障がい児・者、児童・生徒、子育て世代、その他住民を対象として地域内で行う事業及び活動 例）高齢者の家事・生活支援、障がいをお持ちの方の集いの場、子育てサロン、世代間交流イベントなど
助成額	１団体につき最大５万円（総額 20 万円）
応募方法	所定の応募書を金ケ崎町共同募金委員会に提出（窓口は金ケ崎町社会福祉協議会）
締切り	令和７年７月 31 日（木）

▲ 実施要項や応募書は社協HPからもダウンロードいただけます。



前年度助成の一例

❶3GeLeCa（３世代の居場所づくり）
- タープテント等の備品購入費

❷上平沢自治会（ご近所支え合い巡回活動）
- 除雪用具、保険代

お問い合わせ・お申し込み　金ケ崎町共同募金委員会（金ケ崎町社会福祉協議会内）担当：小澤（☎ 44-6060）

児童福祉に興味のある方は、ぜひ応募ください！

放課後等デイサービス 職員募集

放課後等デイサービスとは

障がいがある、若しくは発達が気になる就学児（小学生・中学生・高校生）に対し将来の自立した生活と社会参加を目指すためのサポートを行う児童福祉法に基づく通所型のサービスのことをいいます。

募集区分	臨時又はパート職員
職種	児童指導員、指導員
勤務場所	放課後等デイサービスクレヨン又は放課後等デイサービス第２クレヨン（いずれも利用者の定員は 10 名）
資格	特に問いません。（経験者や保育士、教諭等は優遇します。）
募集人員	２名程度
勤務開始	令和７年７月１日（可能な方は、それ以前からでも勤務できます。）
賃金等	本会の諸規程に基づき賃金、資格手当、交通費等を支給します。勤務実績に基づき、年２回期末手当の支給あり
社会保険	勤務時間数等により社保加入あり
休暇等	勤務日数に基づき有給休暇、夏季休暇、特別休暇等あり
申込方法	電話等で事前にご連絡ください。面接の上、随時決定します。（男女問わず、町外の方も応募可能です。）
勤務日	月曜日～土曜日まで（日曜日、祝日、年末年始は除く）
勤務時間	下記の時間帯の中で都合の良い時間数とします。（応相談）

①通常時期
- 月～金曜日：午前 11 時から午後７時までの間で７時間以内
- 土　曜　日：午前７時 45 分から午後６時までの間で７時間以内

②学校の春・夏・冬休み期間
- 月～金曜日：午前７時 45 分から午後７時までの間で７時間以内
- 土　曜　日：午前７時 45 分から午後６時までの間で７時間以内

お問い合わせ・お申し込み
総務企画・地域福祉課
職員採用担当（☎ 44-6060）

INFO　７・８月のふれあい福祉相談について

金ケ崎町社会福祉協議会では、住民の皆さんの困りごとや日常生活での様々なお悩みについて相談をお受けする「ふれあい福祉相談」を実施しています。今月と来月は右記の日程で開催します。相談の際は、特に予約は必要ありません。なお、個人情報は厳守いたします。

日時	７月 25 日(金)、８月 22 日(金) 午後１時～４時
場所	金ケ崎町福祉センター　２階相談室

お問い合わせ　総務企画・地域福祉課　（☎ 44-6060）

寄附の報告

令和7年5月1日から6月20日まで

物品寄附

・放課後等デイサービスクレヨンへ
　及川恵美子　様　電子ピアノ1台

・ワークステーションかねがさきへ
　小坂倫充　様　たけのこ8本

・はっぴぃぷれいすかねがさきへ　トヨタ自動車東日本　様　フードドライブ品（水、非常食等9箱）

ワークステーションかねがさき ふれ愛食堂

営業時間
11：40～13：40
（ラストオーダー13：20）
月～金（土・日・祝日休み）

MENU（税込み）

栄養士が考えた栄養満点のオリジナルメニューです

❶日替わり定食（コーヒー付き）	550円
❷かけそば	350円
❸かけうどん	350円
❹ソースカツ定食（汁物付き）	600円
❺鶏の竜田揚げ定食（汁物付き）	600円
❻たぬきそば（温・冷）	500円
❼たぬきうどん（温・冷）	500円
❽ラーメン	500円
❾ねぎラーメン	600円
❿ねぎ味噌ラーメン	600円
⓫カレーライス	450円
⓬かつカレー（サラダ付き）	650円
⓭半ライス（お新香付き）	50円
⓮ライス（お新香付き）	100円
⓯半カレー	200円
※⓭～⓯は単品での注文はできません	
⓰シェフのおすすめ定食	600円
※詳細につきましてはお尋ねください	
⓱コーヒー	150円
⓲ジュース	150円
⓳アイスコーヒー	200円
※⓱～⓳はお食事の方は100円になります	
⓴お弁当　ご予算に応じて対応いたします	

❶ 日替わり定食

⓬ かつカレー

❿ ねぎ味噌ラーメン

New
冷やし中華はじめました 600円

600円～ご注文承ります

⓴ **お弁当**

地域の集まり、会議、研修等にお弁当はいかがでしょうか？配達も可能です。ご連絡をお待ちしております。

デイサービス利用者 **お惣菜パック**

通所介護事業所（デイサービス）をご利用の方は、お持ち帰りの惣菜パックをご注文いただけます。

- ご利用者様…300円
- ご家族様……350円
（1世帯1名分まで）

※どちらも＋50円でごはんを付けられます。

スタッフ一同、みなさまのお越しを心よりお待ちしております。☎ 44-5175

会長の想い Part 20

令和6年度決算を終えて ～増収増益～

金ケ崎町社会福祉協議会
会長　髙橋範夫

当社協の令和6年度決算が、去る6月11日の理事会、そして6月26日の評議委員会で承認を頂きました。結果は前記に詳述のとおり資金収支計算書（企業会計でいう「キャッシュ・フロー計算書」）でプラス10,735千円、事業活動計算書（企業会計の「総益計算書」に相当するもの）でプラス9,716千円となり2年連続「増収増益」となりました。このプラス要因は、社協事業に直結する大雪などの影響がなかったこと、及びコロナ感染が5類に移行したことにより、利用者（率）が低下せず、増加に転じたことであります。また、事業見直しによる効率的人員配置による経費の圧縮などがあげられます。好決算できましたことに対し、紙面からではありますが、ご支援、ご協力頂きました町民の皆様、企業・団体、そして行政当局に対しまして厚くお礼申し上げます。

さて、令和7年度も早や第一四半期が過ぎました。5月末の事業実績をみますと、事業は前年より確実に好転しています。そういう意味では、いいスタートを切れたものと思っています。社協は営利団体ではありませんが、組織を安定的に維持継続し、福祉事業・福祉サービスを展開していくためには一定の利益は必要です。万が一にも、経営難に陥ることの無いよう経営基盤を盤石なものにしなければなりません。加えて、社協の使命は、地域福祉を推進することであります。誰もが支え合いながら安心して暮らすことができる地域社会づくりです。そのために当社協は、地域福祉事業として50を上回る福祉サービス、福祉相談など幅広く実践しているところであります。具体的な地域福祉事業は、ここでは割愛しますが、福祉の事で困りごとがあれば何なりとお問い合わせいただければ幸いです。

結びに、町民の皆様、これからの猛暑・酷暑に留意され、日々元気でお過し下さい。

社会福祉法人 金ケ崎町社会福祉協議会

〒029-4503　岩手県胆沢郡金ケ崎町西根南羽沢43　町福祉センター内
TEL 0197-44-6060　FAX 0197-44-6106
http://www.kin-syakyo.jp　E-mail : kinshaky@seagreen.ocn.ne.jp

※この広報誌は、共同募金配分金の一部をあてて発行しています。